

各機種共通

インターネットFAX メール連携プログラム 取扱説明書

Windows 95/98 日本語版編

はじめに(重要な事項が書いてあります、是非お読み下さい。)

1. インターネットFAX メール連携プログラムで何ができるか
2. MAPI(Messaging API)について
3. インターネットFAX メール連携プログラムの動作環境について
4. インターネットFAX メール連携プログラムのインストールについて
5. インターネットFAX メール連携プログラムの使用方法について

はじめに

本ユーザズガイドは、インターネットFAX の TIFF コンバーターに MAPI 対応メールクライアントとの連携機能を追加するアドインプログラム「fax Mailer」についての説明書です。(以下本書と略します。)

まず最初にソフトウェア使用許諾書を、注意してお読みください。ソフトウェア使用許諾書は、本書およびパナソニック コミュニケーションズ株式会社製「fax Mailer」(以下本件ソフトウェアといいます)に関する、お客様とパナソニック コミュニケーションズ株式会社との間のライセンス契約書です。

本書および本件ソフトウェアの使用を開始する前に、この契約の条件を十分ご確認ください。

この契約に、ご同意いただけない場合には、本書および本件ソフトウェアをご使用にならず、当該本書および本件ソフトウェアのコピーも含め全てを廃棄してください。

本書および本件ソフトウェアの内容は、予告無く変更する事があります。

(注 1)Windows,Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1. インターネットFAX メール連携プログラムで何ができるか

「fax Mailer」は、インターネットFAX の TIFF コンバーターに MAPI 対応メールクライアントとの連携機能を追加します。アプリケーションからインターネット FAX に印刷イメージをメールで送る場合には、「TIFF ファイル作成」機能を使い、インターネットFAX がメールとして受信印刷できるフォーマットに文書を変換し、そのファイルをメールの添付書類としてインターネットFAX へ送信する必要がありますが、「fax Mailer」を使えばインターネットFAX の TIFF コンバーターからボタン一つで自動的に「TIFF ファイル作成」後、いつもお使いの MAPI 対応メールを起動し、作成した TIFF ファイルを添付した送信画面を開くことができるようになります。

2. MAPI(Messaging API)について

MAPI(Microsoft Messaging Application Programming Interface)とは、Windows アプリケーションでメールを送受信するための共通インターフェースの仕様であり、メールを作成、送信、受信、保存するために使用されるWin32 付属の関数群のことです。MAPI が提供する共通インターフェースを使えば、特定のメッセージシステムに依存せずにメールの送受信ができるアプリケーションを開発することができます。また、MAPI を利用することで、Windows アプリケーションで作成したデータを電子メールとして送りたいときに、ユーザーがわざわざ別のメールクライアントを起動しなくても、Windows アプリケーションから直接、作成したデータを添付書類とした電子メールを送ることができるようになります。

MAPI 対応のメールクライアントには、Microsoft Exchange や Microsoft Outlook、Outlook Express などの Microsoft 製品の他に、Netscape Navigator や EudoraPro などがあります。

それぞれのメールソフトを MAPI 対応のメールクライアントとして使用する場合の設定方法を簡単に記述します。詳しい設定方法については、各メールクライアントのユーザーマニュアルをご参照ください。Microsoft Exchange や Microsoft Outlook はインストールすると自動的に MAPI クライアントとして登録されます。

Outlook Express は「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「全般」タブの画面で「Outlook Express を標準のメールクライアントにする」と Outlook Express を標準の簡易 MAPI クライアントにする」の両方にチェックマークをつけてください。

Netscape Navigator は「編集」メニューから「設定」を選択し、「メールとグループの設定」から「メールサーバ」を選択し、「詳細オプション」画面を開き、「MAPIベースのアプリケーションに Netscape Navigator を使用する」にチェックマークをつけてください。

Eudora では「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「MAPI」画面から「MAPI サーバの使用」で「常時」を選択してください。また、Eudora からインターネット FAX ヘメールを送るために、必ず「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「添付」画面の「送信時の変換方式」で「MIME(Base64)」を選択しておいてください。

3. IFAXVIEW の動作環境について

本書で説明しているのは、「Microsoft Windows 95/98 日本語版 用」のインターネットFAXメール連携プログラムについてです。

- CPU が 80386SX 以上(80486 以上を推奨)搭載のパソコン。
- Microsoft Windows 95/98 日本語版が動作できる環境。
- 最低必要メモリ容量は、12MB 以上(16MB 以上を推奨)。
- 使用ディスクメモリ容量は、4MB 以上。
- メール連携プログラムをオンラインで入手する為に、WWW ブラウザが動作する事。
- TIFF ファイル作成機能を使用して、インターネットFAXヘメールを送信する為に、MAPI に対応

した MIME 機能を装備しているメーラが動作する事。

4. インターネットFAX メール連携プログラムのインストールについて

mpjpxxx.exe のファイルが、Microsoft Windows 95/98 日本語版用メール連携プログラムです。
また、tf9 xxx.exe のファイルがインターネットFAX の TIFF コンバーターソフトウェアのプログラムです。
(注:xxx は、Version 番号です)(それぞれ圧縮されています)
それぞれのプログラムをダウンロードしてください。

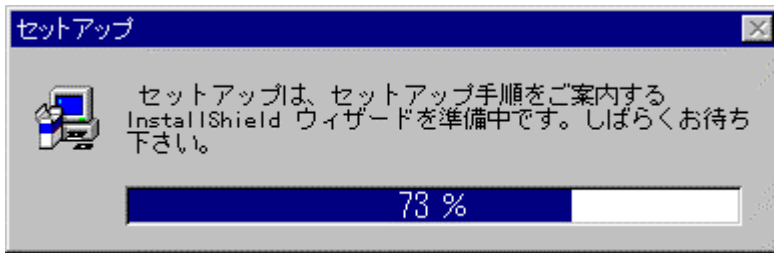
インターネットFAX メール連携プログラムをインストールする前に、TIFF コンバーターをインストールする必要があります。

TIFF コンバーターのインストールについての詳細な説明は「インターネットFAX TIFF コンバーターソフトウェア 取扱説明書 ? Windows95/98 日本語版編 - 」の「インターネットFAX の TIFF コンバーターのインストールについて」をご覧ください。

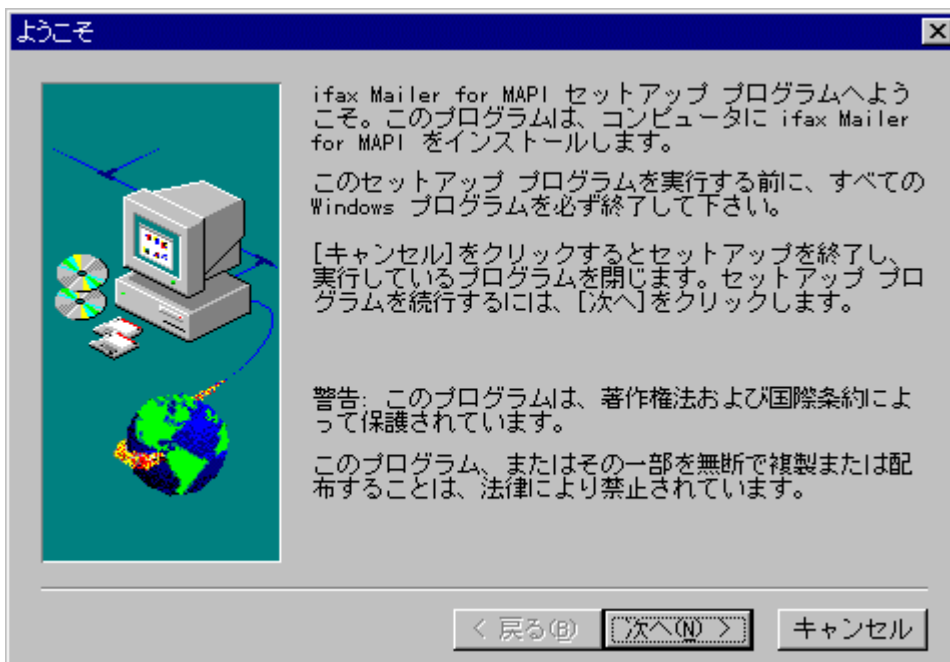
また、TIFF コンバーターのインストールの際にインターネットFAX の LAN 上での IP アドレス、および Windows95/98 のシステム FD または CD(プリインストールモデルのパソコンの場合は関係なし)が必要になりますので、あらかじめ確認および用意をしておいてください。

- 1.最初に TIFF コンバーターをインストールします。ダウンロードした tfntjxx.exe ファイルは、ZIP 形式の自己解凍型です。ダブルクリックすると解凍されます。
- 2.「スタート」ボタンをクリック、「設定」をポイント、「プリンタ」をクリックして、「プリンタ」ウインドウを表示させます。
- 3.「プリンタ」ウインドウ内の「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。「プリンタウィザード」が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。
- 4.「プリンタはどこに接続されていますか?」と表示され、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面が表示されますので、「ローカルプリンタ」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 5.「製造元」「プリンタ」の表が表示されますが、「ディスク使用」ボタンをクリックします。
- 6.「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されますので、「参照」ボタンをクリックするか、「配布ファイルのコピー元」に直接キー入力するかして上記で解凍したファイルが在るフォルダーを指定します。
- 7.「配布ファイルのコピー元」にフォルダーの指定が出来たら、「OK」ボタンをクリックします。
- 8.「プリンタウィザード」に戻り、「Tiff Converter JP-MX4」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 9.「プリンタに使用するポートを選んで、[次へ]を押してください。」と表示され、利用できるポートの表が表示されますので、「LPT1:のプリンタポート」を選択(反転文字)して、「次へ」ボタンをクリックします。この利用ポートは後で変更します。
- 10.プリンタ名に「Tiff Converter JP-MX4」が表示され、通常のプリンタとするかどうかを、選択後「完了」ボタンをクリックします。
- 11.ファイルのコピーが終了すると、「プリンタ」ウインドウに「Tiff Converter JP-MX4」のアイコンが表示されます。これでプリンタドライバのインストールは完了です。

12 .次にメール連携プログラムをインストールします。ダウンロードした mpjpxxx.exe は自己解凍形式のインストールプログラムです。エクスプローラ上でダブルクリックすると自動的に解凍され、インストールが始まります。

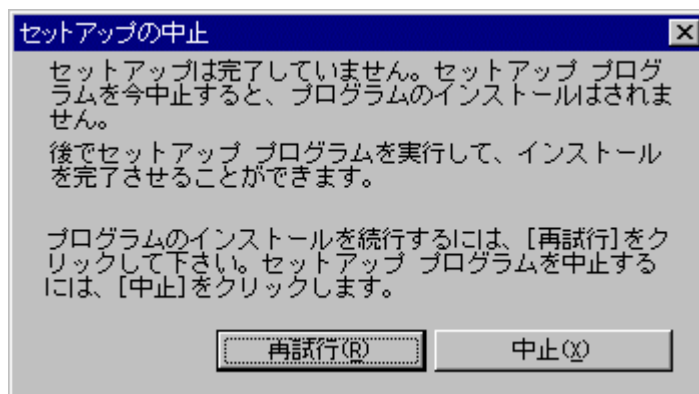


13 .インストーラが正常に起動すると、最初に「ようこそ」とタイトルの付いた画面が表示されます。インストールを続けるために「次へ」をクリックして下さい。

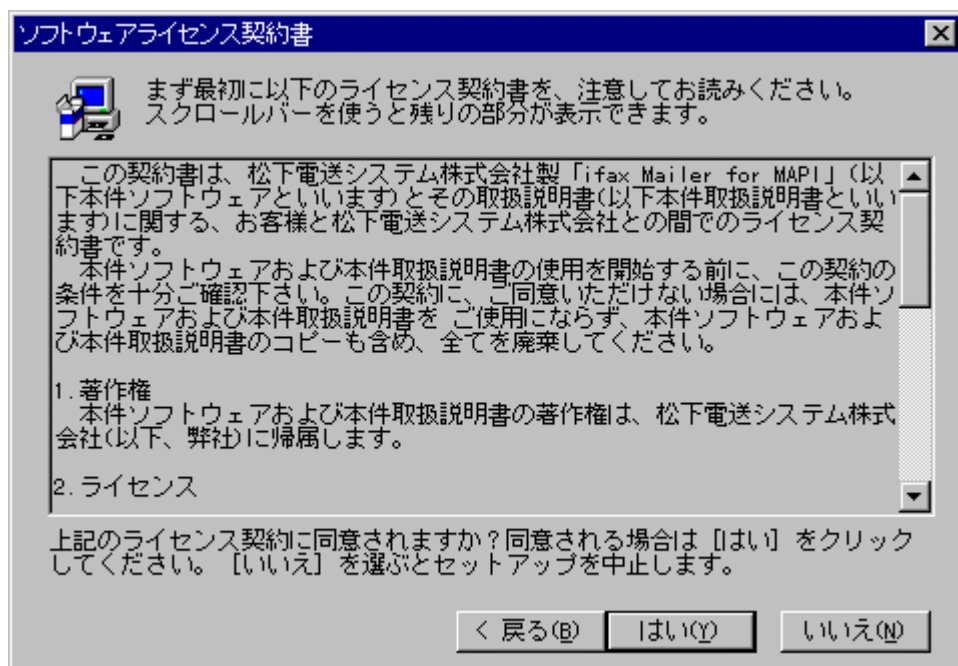


以後の画面では「キャンセル」をクリックすればいつでもセットアップを中止することができます。

「キャンセル」をクリックすると、セットアップ中止を確認するダイアログが表示されます。ここで「中止」をクリックすればインストールは終了します。「再試行」をクリックすればインストールは継続されます。



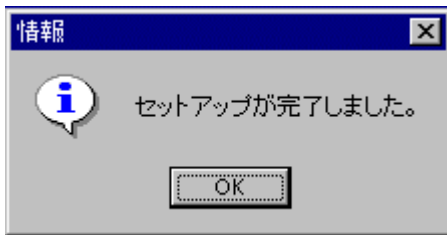
- 14 .次にライセンス契約が表示されますので、内容をよくお読みになり、同意される場合には「はい」をクリックして下さい。「いいえ」をクリックするとセットアップを中止します。



- 15 .最後に、インストール開始を確認する画面が表示されます。「次へ」をクリックしてファイルのコピーを開始して下さい。



16 .セットアップが正常に完了した場合には、セットアップ完了ダイアログが表示されます。「OK」をクリックすればインストールは完了します。



以上でインストールがすべて完了しました。

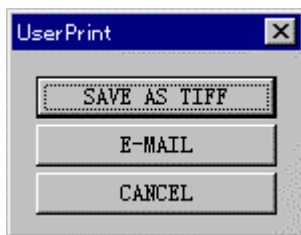
5. インターネットFAX メール連携プログラムの使用方法について

インターネット FAX メール連携プログラムのインストールが終わると、TIFF コンバーターに「E-MAIL」ボタンが追加されます。メール連携以外の機能については TIFF コンバーターと変わりません。メール連携も普通のプリンターを使う場合と同じようにして行います。

一般的には、「ファイル」メニューから「印刷」を選択することになります。

(詳しくはそれぞれのソフトウェアのマニュアルを見てください。)

「印刷」の選択をすると、「Save As Tiff」、「E-MAIL」、「Cancel」を選択するダイアログボックスが表示されます。(一部のアプリケーションでは、ダイアログボックスが隠れる場合があります。)



メール連携をする場合には「E-MAIL」を選びます。

「E-MAIL」を選択するとメール連携プログラムが働き、印刷イメージを自動的に TIFF ファイルに変換、保存後、MAPI 対応メールクライアントの送信画面を開き、添付ファイルとして保存した TIFF ファイルを追加します。メール送信画面が表示された後は、各メールクライアントの操作に従い、宛先等の必要な情報を入力して、送信して下さい。

解像度の変更方法についての詳細な説明は「インターネット FAX TIFF コンバーターソフトウェア (MAPI メール連携機能対応版) WindowsNT 4.0 日本語版取扱説明書」の「インターネットFAX の TIFF コンバーターの使用方法について」をご覧ください。

以下は技術情報です。必要な場合にのみ参照してください

メール連携プログラムが作成する TIFF ファイルの名称は TIFF コンバーターの環境設定ファイル updialog.ini に記述してあります。updialog.ini は Windows のシステムディレクトリにあります。メモ帳で updialog.ini ファイルを開き、[Appinfo]セクションにある TIFF-NAME=の右側のファイル名(下の例の下線部)を変更すれば好みのファイル名に変更できます。

インストール時には Windows のテンポラリディレクトリに TmplImage.TIF のファイル名で保存する設定になっています。

TIFF-NAME=C:¥Windows¥Temp¥TmplImage.TIF

注意:updialog.ini の書き換えにはリスクがともないます。存在しないフォルダ名や Windows で使用できないファイル名を指定しますと、最悪の場合 Windows が動作しなくなることもあります。updialog.ini の修正はインストール時の設定のままではディスクに空き容量が無い等の原因でメール連携プログラムがうまく動作しない場合にのみ行ってください。